

福祉サービス等第三者評価結果

総括コメント

受診施設名	みねやま作業所
施設種別	知的障害者通所授産施設
評価機関名	京都ボランティア協会

平成18年4月26日

評価が高かった点	I-1 理念・基本方針の確立及び職員への周知 II-1 経営状況の把握 III-4 サービス実施計画の策定 I-3 管理者の責任 II-4 地域との交流 III-1 利用者尊重
理由	<ul style="list-style-type: none"> 理念及び重点方針の存在が、障害者福祉の目的を踏まえながら25年間にわたる存続運営を支えてきたものと評価します。理念等は、職員には概ね周知されていると認められます。この際、法人設立理念を筆頭に文言を整理し、利用者を含め誰にも分かりやすく多角的に活用できる施設独自の理念の作成を望みます。 施設長は主任と協働して、会議や打ち合わせを重視し、一方では職員との意見の交換や職場の人間関係の円滑化の課題を十分に感じながら、毎日の運営の先頭に立ち、その役割と責任を果たしているものと認められます。 障害者自立支援法との関わりが本格化して行く中、地域の中でどのような事業展開を図っていくかについて、利用者のニーズ調査なども取り入れながら、真剣に論議を深めておられる状況が実感できました。今後の成り行きに注目します。 利用者の作成した製品の販売を通しての地域活性化への貢献、資源回収事業を通じての地域環境への貢献、地域の行事などに参加することによる地域交流の促進等の実績が評価されます。資源回収事業にはボランティア受入れなどを検討されてはどうか。 利用者達自らが言う「みんな家族みたいなもの」にもあるように、表情は明るく、遠慮なく会話が交わされ、誇りを持って作業に励んでいる状況を把握しました。障害の程度の重い利用者の事も考え、きめ細かな班体制づくりやニーズの把握に努めていることにより、そうした雰囲気が維持されているものと評価します。 個別の利用者の支援計画の策定、日頃のチェック、検討のための会議などの一連の流れについて、熱心に行なわれていると認められます。年度始めには、家庭訪問の実施により家族の意見・希望聴取に努められていることを評価します。
改善努力を要する点	I-1 理念等の利用者への周知 II-2 必要な人材の確保・職員の質の向上 III-2 サービスの実施方法
理由	<ul style="list-style-type: none"> 利用者やその家族への理念や事業計画等の周知が十分とは言えません。利用者に理解してもらうための文面等の工夫や掲示方法、広報紙「てつなぎ」などの活用を検討されてはどうか。 サービスの質の向上を図っていくために、人材の計画的採用及び教育・研修計画について格段の充実が求められます。 サービス提供に関する標準的な実施方法の設定が不十分です。利用者の過半数を越す中・重度者や重複障害者へのよりの確な対応をも含め、更に、サービス水準の向上を図る観点からの検討を求めます。

総括
コメント

・10年以上の通所者が56%の状況にある中、施設長の「利用者の日頃の様子を見ればおよその事が分かる、これにこだわらず、気をひき締めて利用者個々の把握及びサービス内容の改善に切磋琢磨したい」の言葉に、今後の全てがあるように実感しました。法改正への対応と併せ、今後に期待をしたいと思います。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】 評価結果対比シート

受診施設名	みねやま作業所
施設種別	知的障害者通所授産施設
評価機関名	社団法人 京都ボランティア協会
訪問調査日	2006年3月31日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-1 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-2 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	C	B
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	C	C
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C	C
	I-2-2 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	C	B
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	C	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

【自由記述欄】

--

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	B	B
		③ 外部監査が実施されている。	C	C
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	C	C
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	C
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	C
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	C
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	B
	II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。			B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	C
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	C	B
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	C	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	B	

【自由記述欄】

--

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	C	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	C	B	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	C	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	C	C	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	B	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	C	C	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	B	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

【自由記述欄】

--